

令和6年3月12日

世田谷区立明正小学校校長 栗林大輔殿

世田谷区立明正小学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 西山 朝子

## 令和5年度 明正小学校関係者評価結果報告

令和5年度の学校関係者評価結果を報告いたします。この報告書作成にあたり、学校関係者評価アンケート集計結果、自己評価報告書（学校教職員による内部評価で、個人点検表の集計及び評価項目ごとに1年間の課題を洗い出し、次年度に向けての改善策等を検討する）、先生方との懇談会でのヒアリング、授業・行事の見学等をもとに、委員会において検討し、評価しました。

この結果報告を本校児童の教育環境の充実に向けて役立ててください。

### ◎総評

令和5年度は、5月にコロナウィルス感染症が5類となり、コロナ以前の学校の日常がほぼ戻ってきた年度と考えられる。そして今年度は、明正小学校の創立70周年の節目の年で、それに伴う周年行事も行われた。

学校評価アンケートの保護者向け設問「学校行事は子どもにとって楽しい」では、プラス評価（「とても思う」と「思う」の合計）が97.1%、同じく保護者向け設問「本校の学校生活は子どもにとって楽しい」では、プラス評価91.7%といずれも高い数値を示している。先生方の自己点検表の項目「予定されている行事等の教育課程が適切に実施されている」では、プラス評価が100%、「学校行事は時間・内容等が適切である」では、プラス評価が87%となっている。これらの結果から、今年度は例年より行事の多い年度であったが、それらの行事は円滑かつ着実に実施されたものと評価する。

先生方の自己点検表の項目「問題意識や悩みを気軽に話し合える職場になっている」では、プラス評価が100%、「管理職の方針・指示が浸透し、教職員が課題解決にあたっている」では、プラス評価97%といずれも高い数値を示している。また、保護者向け設問「校長をはじめ教職員は協力して教育活動に取り組んでいる」のプラス評価が92.2%となっている。自己評価報告書の中でも、項目ごとに活発に今年度の課題があげられ、次年度に向けての改善策が検討されていた。また当委員会のヒアリングにおいても、短時間にもかかわらず先生方から多様な意見が出されて有意義なものとなった。

これらの結果から、前年度の報告書においても「全般的に教職員が相互に協力し合える信頼関係が構築され、意欲的かつ円滑な教育活動が行えている」と評価したが、今年度においてもその状態が維持され、管理職・教職員がチーム明正として活動できたと思われる。校内研究、教科担任制の導入、キャリアパスポートの活用等でも一定の成果があげられたことを評価する。

当委員会では、この数年にわたり学校包括支援員、スクールサポートスタッフ、学校生活サポーター、教科支援員などの支援スタッフの有効活用の推進を要望してきたが、今年度の自己評価報告書や先生方へのヒアリングによっても、支援スタッフの活用が進んできており、先生方との連携も円滑になりつつある状況が推察された、具体的には「スクールサポートスタッフが、印刷、カット、ラミネート等の事

務作業、学校ホームページの更新などの支援をしてくれて助かった」、「包括支援員や生活サポーターによる授業時間以外のすきま時間の見守りが児童トラブルを未然に防ぐことになり助かった」、「管理職の巡回による児童への声掛けがありがたかった」、「先生方がスクールカウンセラーやすまいるルームとも連携が取れていて良かった」、「家庭科にもサポートが入るようになった」、「教科支援員とも連携が密に取れて教材研究にも役立った」等々、様々な声を聞くことができた。こういったことも、管理職・教職員が協力する雰囲気の中で生まれた好循環と言えよう。来年度に向け、このような支援体制を引き続き推進していただきたい。また、図工についても工作の際にサポート要員が欲しいとの声があったことを付記させていただきたい。

保護者向けアンケートで、学校からのお便りが紙面配付からすぐ一着による配信に変わったことで、情報を受け取りやすくなったかどうか聞いてみたところ、「受け取りやすくなった」と回答した保護者が81.4%であった。また、保護者向け設問「本校はホームページやメールなどで保護者に情報を提供している」でのプラス評価は90.3%である。IT機器の活用は、学校と保護者間の情報流通の方法として充分受け入れられてきていると考える。一方、保護者の学校とのかかわり方について、例えばPTA活動の Slim 化等により、保護者同士が直接会って話をする機会や、学校に来校して顔を合わせる機会などは減少傾向にあると考えられる。このような傾向は世の中の必然的な流れでもあり、多数の保護者の協力を必要とするような学校行事については今後もその在り方について検討を継続していくことが必要と考えられるが、その中で明正小学校創立70周年の記念行事、明正小まつりは学校と保護者と地域が連携・協力して行われた有意義な行事であったと評価する。

#### ◎回収率について

保護者向け調査シート回収率69%（前年度55%）、児童向け調査シート回収率96%（前年度94%）であった。前年度から保護者アンケートはWebでの回答に変更となり、学校に「子どもが複数在校している場合には子ども1人について1件の回答」を周知していただいた効果もあり、保護者向けアンケートの回収率は今年度14ポイント上昇した。ただし、保護者向けアンケートが紙媒体で実施されていた頃は毎年ほぼ80%以上の回収率であり（過去最高は89.6%）、子どもを通じた手渡しによる保護者アンケートの方が回収率は高くなるのは当然としても、今後も保護者アンケートの回収率向上に向けた働きかけを継続していただきたい。

#### I. 重点目標について

学校側が設定した重点目標は以下の3項目である。

- ① 「自分の個性を理解し、自己実現を図ろうとする『明るい子ども』を育てるために、探究的な学びを通して課題を把握し、解決の見通しを持って取り組む力を養う。
- ② 「学校生活・社会生活を創る『正しい子ども』を育てるために、挨拶の励行と規範意識・情報モラルの醸成を通して豊かな人間関係を養うことを重視する。
- ③ 「力を合わせて達成する『たくましい子ども』を育てるために、多様な他者のよさを理解し、協働して解決しようとする態度を養うとともに、心身の健康づくりを進める。

## II. 重点目標についての評価結果

- ① 「自分の個性を理解し、自己実現を図ろうとする『明るい子ども』」を育てるために、探究的な学びを通して課題を把握し、解決の見通しを持って取り組む力を養う。

今年度の学習面に関するアンケートの児童向け設問で、「わたしは自分の考えを書いたり発表したりすることが楽しい」でのプラス評価は 51.7%（前年度 60.5%）と 8.8 ポイント低下しており、半数近い児童が否定的な回答をしている。当委員会が、先生方へのヒアリングで、発言が苦手な児童に対する工夫について聞いたところ、「いろいろな形で意見を述べる場を設定している」とのことであった。例えば、小グループの中で発言する、隣席の子と話し合う、タブレットのロイロノートに書き込むなど、従来の「挙手をして皆の前で発言する」だけでなく、「自分の意見を伝える」という機会を幅広く設けるように努めているとのことであった。

一方、児童向けの設問「わたしは友だちの考えを聞いたり、話しあったりすることが楽しい」でのプラス評価は 78.5%（前年度 81.5%）となっており、意見を聴く側の姿勢は醸成されてきていると思われる。今後も引き続き児童の「考えを伝える力」を指導してもらいたい。

- ② 「学校生活・社会生活を創る『正しい子ども』」を育てるために、挨拶の励行と規範意識・情報モラルの醸成を通して豊かな人間関係を養うことを重視する。

児童向け設問「わたしは自分からすすんであいさつをしている」でのプラス評価は 82.6%（前年度 86.0%）である。学校が継続してあいさつ運動に取り組んでいることで、80%以上の数値を維持していると思われる。この取り組みは今後も継続していただきたい。

自己評価報告書の中で、遅刻児童が多く、その際、保護者同伴のルールが守られていないことが指摘されている。これは保護者への一層の周知が必要なので、今後も重ねて周知徹底を図っていただきたい。

児童配付のタブレットが有効に利用されつつあるが、使い方のルールをさらに整備して適正な利用が図られるように指導していただきたい。

- ③ 「力を合わせて達成する『たくましい子ども』」を育てるために、多様な他者のよさを理解し、協働して解決しようとする態度を養うとともに、心身の健康づくりを進める。

明正の児童の体力は、運動をよくする子と運動をあまりしない子の差があると言われ、東京都の体力調査でも平均を下回る項目がある。アンケートの児童向け設問「わたしは体育や休み時間にすすんで運動している」でのプラス評価 71.1%（前年度 68.7%）と前年度より 2.4 ポイント上昇している。同じく保護者向け設問「本校では子どもが体を動かす時間が足りている」のプラス評価 60.0%（前年度 57.0%）とやはり前年度より 3 ポイント上昇している。

今年度の児童向け設問「私は放課後、友だちと遊ぶ時間がある」をアンケート項目に加えたところ、この設問に対する回答のプラス評価が 52.5%となり、半数近くの 5,6 年生が放課後に友だちと遊べていない現状であることがわかった。学校で、友だちと体育の時間や休み時間に体を動かす事が一層求めら

れていると思われる。教科担任制に体育も含まれているとのことなので、より一層授業の充実を図り、力を合わせて達成する「たくましい子ども」を増やして行っていただきたい。

#### 追記

先生方へのヒアリングで、「施設利用（体育館の外部利用等）と学校行事の事前準備がバッティングすることがあり、行事準備に支障が生じることがあるので配慮していただきたい」との声があり、また「このことをどこに話に行ったらよいかわからない」という声もあったので、追記させていただいた。

世田谷区立 明正小学校

令和 5 年度学校関係者評価委員会

相賀巳幸 伊藤明子

荻野里絵 落合京子

城戸康子 高山尚紀

西山朝子 服部光司